

## 編集後記

『事業承継』第10号をお届けするにあたり、ま  
 ずご投稿いただいた方々に感謝いたします。早い  
 もので、本学会は2010年春の開設から11年が経  
 過し、本誌も今回節目となる第10号の刊行とな  
 りました。当初は出版社に委託しておりました本  
 誌の編集・印刷も、第4号からは学会が独自で実  
 施し、第7号からは論文のみならず年次大会・研  
 究会、オープンフォーラムの発表要旨も追加さ  
 れ、また、書評、新刊案内など多岐に亘っており  
 ます。論文の掲載に関しても研究者によるダブル  
 ブラインドの厳格な査読体制が整い、会員の皆様  
 の研究成果を発表する学会誌として、この10年  
 でより充実したものとなりました。ご協力いただ  
 きました皆様方に厚く御礼を申し上げます。

そして、今号から論文に加えてケースを募集す  
 ることが決定しました。ケースとは登場人物が直  
 面する複雑な状況の下での課題やジレンマを描写  
 した物語であり、読み手に意思決定の追体験を提  
 供するものであります。ケースはリーダー教育の  
 ための教材として欧米のビジネススクールの研究  
 者によって体系的に開発／蓄積されている一方

で、情報収集が容易な大企業を対象としたものが  
 多く、中小企業のそして事業承継にまで光が当た  
 りにくいのが課題であります。

東京商工リサーチがまとめた全国「老舗企業」  
 調査によると、創業200年以上が3,146社となり  
 ます。世界中の創業200年以上の企業数が5,586  
 社であることを考えると、実に半数以上を日本の  
 企業が占めており、世界でも有数の老舗企業大国  
 といえます。まさに事業承継のケースの宝庫とも  
 いえる日本が、継続的かつ体系的に開発して発信  
 すべきと考えて今回の決定に至りました。

事業承継は少子高齢化が進む社会においては大き  
 きな社会課題であり、事業承継に関する多面的な  
 考察の成果を通じて、研究、実務、教育など幅広  
 く社会にインパクトを与えていくことが、本学会  
 や本誌の使命であると再認識しております。今後  
 とも年次大会や研究会への参加、研究論文の投稿  
 など会員諸氏のご協力をお願いいたします。

栗本 博行（名古屋商科大学ビジネススクール）

### 『事業承継 Vol.10』編集委員

栗本 博行（委員長）  
 林 廣茂  
 落合 康裕  
 太宰 北斗